

2023年11月16日

令和5年度 VOL.40

～青の絶景に向けた第一歩～ ネモフィラの種まきが始まります

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、**11月20日(月)から“ネモフィラの種まき”**を始める予定です。「みはらしの丘」の約4.2haに約530万本となるネモフィラの種を、延べ80人程で約2週間かけてまき、寒さが厳しくなる前の12月初旬までに完了することを目指します。かつて米軍射撃場の標的があった場所に、建設発生土で造成された「みはらしの丘」。戦前戦後の歴史を持つ場所で「**丘と空を同じ色にすれば、過去も忘れるくらい違う景色になる**」と、選定されたネモフィラ。丘を覆い尽くすネモフィラと青空が溶け合う絶景を創り出すため、23年目の春に向けた準備が始まります。



◆4.2haに手作業で種をまく

ネモフィラの種まきは、コキアを抜き取った後に耕うんした「みはらしの丘」で、目印となるラインを20cm間隔に引くことから始まります。次に1粒1mmほどの種130L(約)分をラインに沿って手作業でまき、最後に土をかぶせます。植栽面積は約4.2haにも及ぶため、丘一面を覆い尽くすネモフィラが均等かつ綺麗に咲き揃うよう、日当たりなども考慮して種をまくエリアの順番を決めています。

【ネモフィラ】 ■見頃:4月中旬～5月上旬 ■品種数:1品種(インゲニスブルー) ■本数:約530万本
■場所:みはらしの丘 ■植栽面積:約4.2ha

◆ネモフィラを守る霜よけシート

ネモフィラは種まき後10日から2週間ほどで芽を出し始めるので、発芽を確認した後は“霜よけシート”を設置します。霜よけシートは冬の低温からネモフィラを守るために設置するもので、約2m幅の白い帯状の不織布です。作業期間は約2週間となり、延べ190人程で隣同士のシートを重ね合わせながら張り、ピンで固定していきます。「みはらしの丘」一面が霜よけシートで覆われた様子は、白銀のゲレンデのように見え、丘の頂上からは筑波山や那須連山などの風景もお楽しみいただけます。



霜よけシートに覆われた「みはらしの丘」
(2022年12月28日撮影)

Information

大観覧車前では、11/27(月)から干支の巨大地上絵の制作が始まります。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>